

事業者からの主な意見（競合施設）

●令和2年度

（ヒアリング・公募型サウンディング市場調査）

<実施期間> R2.5～R2.12

<参加企業> ヒアリング:37社

（商社、不動産・デベロッパー、プロスポーツ関連、プロモーター、エンタメ関連事業者、音楽関連会社、ゼネコン、設計、リース、IT 事業者、広告代理店、MICE 関連、運営事業者、地元企業・団体）

公募型サウンディング市場調査:22社

（ゼネコン、リース、商社、建設、設計、運営、維持管理、金融、スポーツ団体、その他）

エコパアリーナ等と 需要が競合するという意見	エコパアリーナ等と需要が競合 するが、東静岡が優位という意見	エコパアリーナ等と 住み分けが可能という意見	市内の他施設との 競合、連携に関する意見	県外の他施設との 競合に関する意見
<p>・エコパアリーナ級を整備したとすると、現状のエコパアリーナの需要の取り合いになると想定される。</p>	<p>・アクセス等を考えれば、東静岡はエコパアリーナに比べ圧倒的に魅力的。東静岡にアリーナができれば、エコパのコンサートは全てこちらに来るのではないか。</p> <p>・立地、アクセス、宿泊施設はエコパアリーナより優れるが、キャパシティが同程度ないとコンサートは来ない。同程度のアリーナが東静岡にできれば、ほとんど来るのではないか。</p> <p>・エコパアリーナとのすみ分けについては懸念があり、需要を取り込んでしまう。エコパアリーナはアクセス面のほか、設営時にトラックがそのまま入れない、近隣の宿泊施設が少ないなど難点も多い一方、基本料金は安い。</p> <p>・市民を対象とするなら競合施設はないと想定できるが、エコパアリーナ、浜松アリーナなどの需要を奪う形にはなるのではないか。</p> <p>・東京からのアクセスを考えた場合、エコパアリーナ、浜松アリーナより優位性があるものとする。</p>	<p>・商圈、アクセス面から、浜松アリーナ、エコパアリーナとのすみわけができる想定する。</p> <p>・エコパアリーナや浜松アリーナとは規模、種類などの差別化を図るイメージをしており、競合するとすれば、名古屋のガイシホールを想定している。</p> <p>・周辺施設との住み分けは事業規模ごと可能。そもそも全国的にアリーナが不足している中で、ほかのアリーナと競合することはないと考えており、共存できる。</p>	<p>・このはなアリーナは大きな音が出せないことや、床面の耐荷重から都合から、音楽ライブはできない。</p> <p>・MICE 関連では、グランシップにはアリーナ機能はあるが大型展示場がなく、連携が可能と想定。近くにあることで、単体では呼べないイベントを誘致、開催でき、マーケットは広がる。</p> <p>・グランシップ等と連携することを考えると、導線が良いとは言えない。グランシップ等の近隣施設との利用調整会議が定期的に行われる関係性があれば、グランシップで受けられない予約をアリーナに流したり、共同開催としたりすることで、稼働を上げることができる可能性がある。</p>	<p>・有名アーティストはファンクラブがあり、先行販売される。抽選となり、会場を考慮せず申し込まれるため、競合先は全国の都市部にあるアリーナとなる。</p> <p>・愛知県でもアリーナの計画はあるが、大きさが異なるので、東静岡とは競合しない。</p> <p>・東京方面からは横浜アリーナ、その他都内のアリーナが多く、名古屋では日本ガイシや愛知県新体育館、ナゴヤドーム、豊田スタジアムと、イベントの調整で多少の需要はあるのかもしれないが、独自のコンテンツを持ってこない厳しい勝負になるのかもしれない。</p>

●令和3年度（ヒアリング）

<実施期間> R3.7

<参加企業> 24社（商社、不動産・デベロッパー、プロスポーツ関連、プロモーター、エンタメ関連事業者等）

エコパアリーナ等と 需要が競合するという意見	エコパアリーナ等と需要が競合 するが、東静岡が優位という意見	エコパアリーナ等と 住み分けが可能という意見	市内の他施設との 競合、連携に関する意見	県外の他施設との 競合に関する意見
<ul style="list-style-type: none"> ・エコパアリーナは使用料がかなり安い。エコパとの競合を考慮する必要がある。 ・エコパアリーナとの競合について、8,000人以上かつ搬入路の使い勝手の工夫が重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコパアリーナの音楽イベントが東静岡に来ると思うが、エコパアリーナができる前は浜松アリーナで音楽イベントが行われていた。それがエコパアリーナに移ったように、業者側が選択を変えることを考えている。 ・競合施設の影響について、懸念材料はない。立地もエコパアリーナより静岡の方がよいと認識している。 			<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県の新アリーナとは競合しないと考えている。

●令和4年度（公募型サウンディング市場調査）

<実施期間> R4.6～R4.7

<参加企業> 20社（スポーツ・不動産・デベロッパー・運営・MICE 関連・ゼネコン・設計・維持管理・建設・商社）

エコパアリーナ等と 需要が競合するという意見	エコパアリーナ等と需要が競合 するが、東静岡が優位という意見	エコパアリーナ等と 住み分けが可能という意見	市内の他施設との 競合、連携に関する意見	県外の他施設との 競合に関する意見
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣施設と比べて本アリーナ賃料（利用料）が高いと利用されない可能性があるが、一方で事業性を考慮すると賃料は高くする必要があるため、バランスが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地へのアクセスがよい、周辺で宿泊施設が確保しやすい、県外等広域からの公共交通機関でのアクセス性という点で、本アリーナに優位性があると考えます。 ・アリーナツアーに関しては競合する可能性があるが、トラックがそのまま入れるようにする等、主催者側の利便性を高めて、差別化を図ることができる。 ・エコパアリーナでは、平日のコンサートは難しいが、東静岡であれば、平日の公演利用や広域からの集客も見込めるものと考えます。 ・コンサートは近隣施設と比べると優位性はあるものの、アーティストのツアー会場に選ばれる施設になるかは、さらなる検証が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り込むイベントの住み分けができ、同日のイベント内容が違えば、特に問題ないと考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・愛知からの集客は、新しいアリーナもあり少し厳しい状況になったと考えている。